

ITで教育が変わる

第7講

なぜIT教育をとりいれたの？

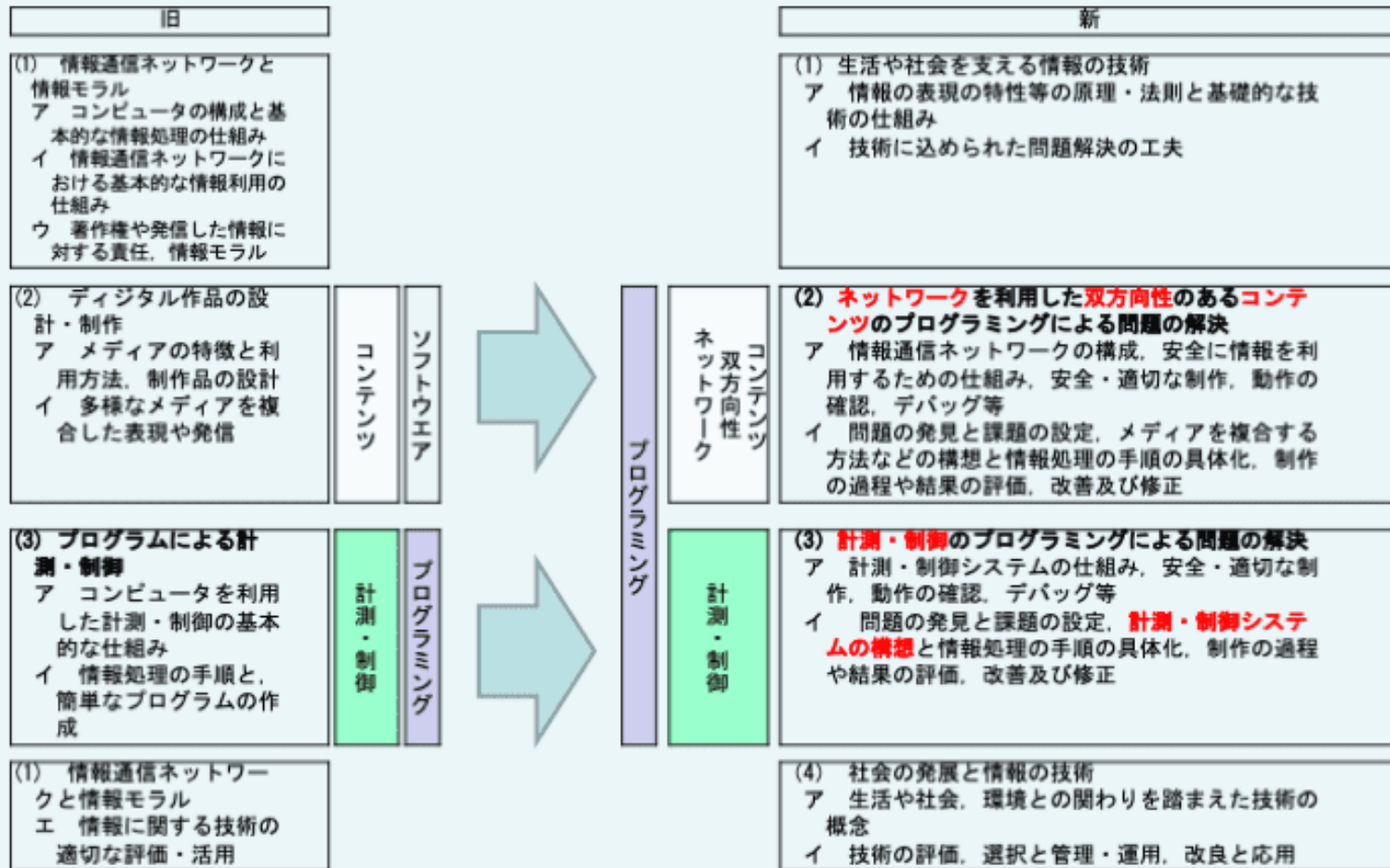


- ① 学生に情報技術に関する理解を深め、実用的なスキルを身に着けさせるため。
- ② 現代社会でのデジタルリテラシーが向上しており、それ に対する問題解決やイノベーションに対する能力を養うため。



将来の科学技術分野での活躍に備えるため

1. 技術分野 内容「D情報の技術」の改訂の具体



引用: <https://coeteco.jp/articles/10668>

学校現場でのIT教育について

小学校

- ・プログラミング授業。
- ・小学校の教育ではビジュアル言語を用いることが多い。
- ・算数では図形をプログラミングで描き、そこから図形の性質を学ぶ。
- ・アプリを利用し各都道府県の場所を知る、見つける。



中学校

- ・情報セキュリティを含むネットワークについての学習。
- ・双方向性のあるプログラミングによる課題解決とプログラムの改善。
- ・おもに技術や家庭科の授業でプログラミング学習が取り入れられており、内容は小学校での学習よりも補強されている。
- ・プログラミングを学びながらITに関する知識を身に着けることを目的とした学習。

高等学校

・ 1993年3月高等学校学習指導要領改正。2003年からは高校での情報科目が教科として必修化される。

・ 情報科目のなかでも「情報Ⅰ」を必修科目として学び、「情報Ⅱ」ではさらに発展した学びをおこな

な

情報Ⅰ

(1) 情報社会の問題解決
(2) コミュニケーションと情報デザイン
(3) コンピュータとプログラミング
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用

情報Ⅱ

(1) 情報社会の進展と情報技術
(2) コミュニケーションとコンテンツ
(3) 情報とデータサイエンス
(4) 情報システムとプログラミング
(5) 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の探究

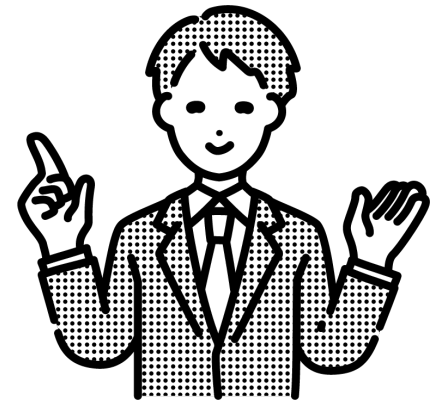


高校まで行われてきた情報教育から大学の情報教育では
どんなことを行う？

・大学ではITやデジタル技術を活用して仕事の改革や効率化を図る
DXが推進されている。



実践的な教育を行うべき！！！！



社会へでて働く立場の人のなかの技術系人材が不足している。
基礎学力が不足、目的意識の欠如、狭い専門領域が問題として挙げられて
いる。

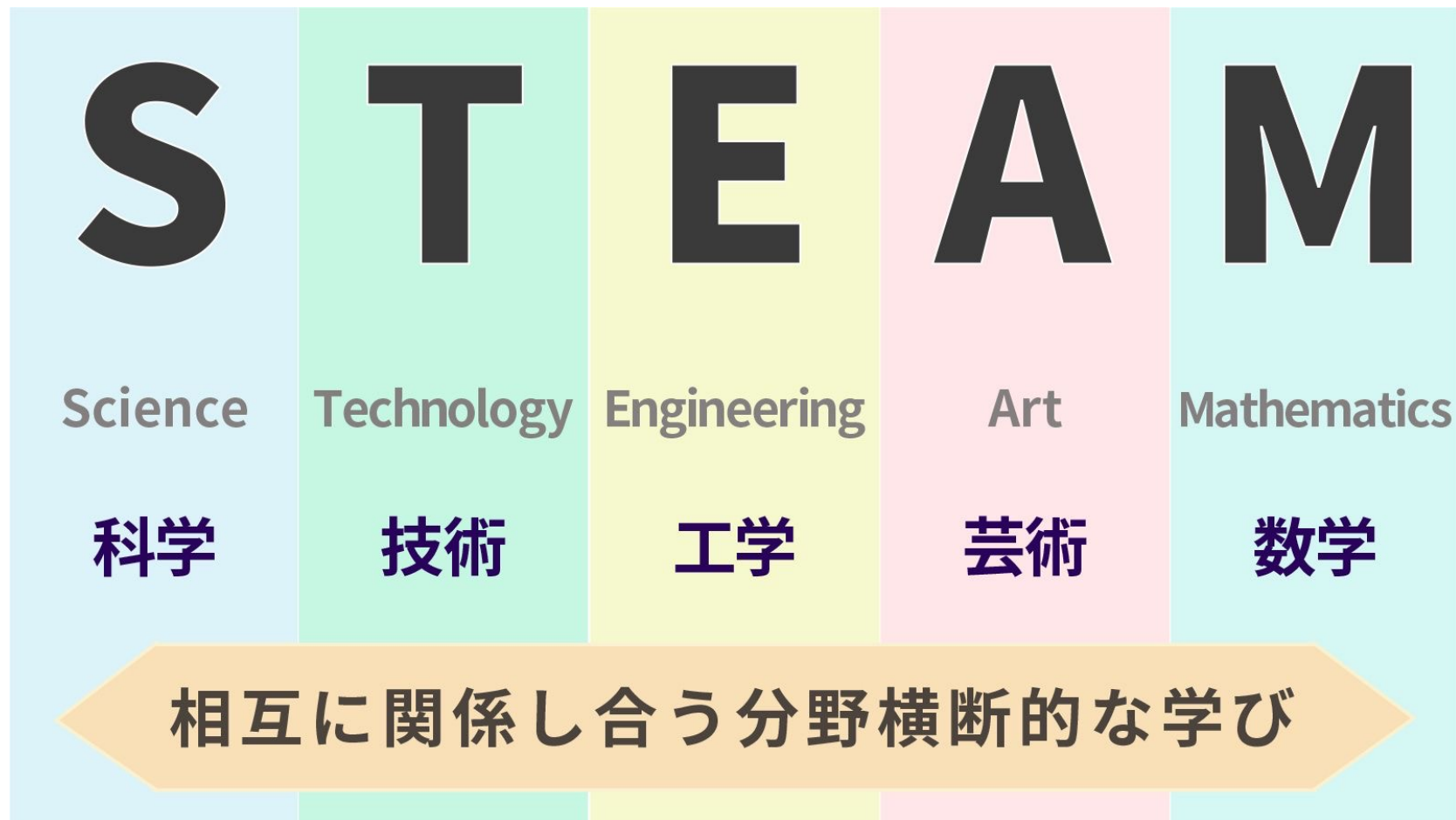
問題を解決するには大学の教育を見直す。研究の中で技術者のモデルを
話したり、直接抗議を受けるなど基礎的な土台をかためる活動を行う。

Society5.0の世界を目指す！

Society5.0とは

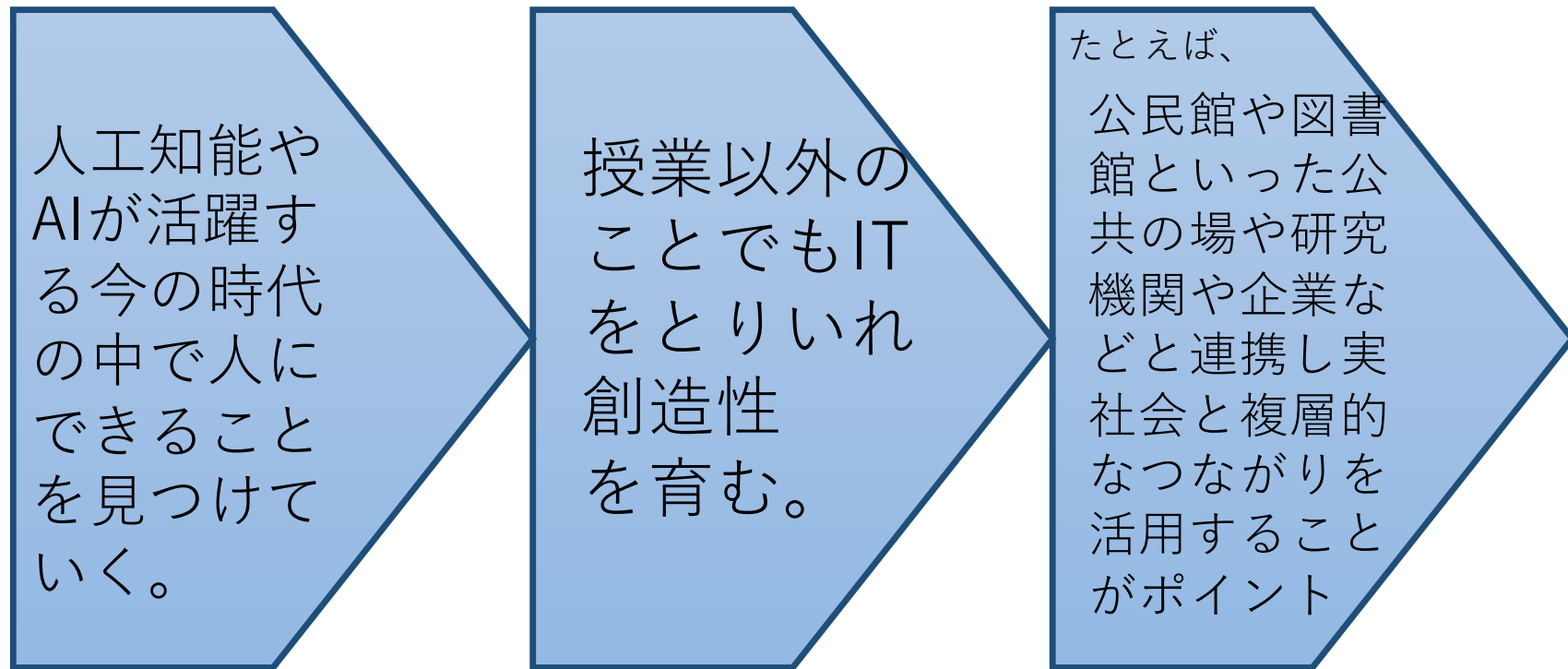
「第5期科学技術基本計画」にて定義されている、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立人間社会の中心と、現在のSociety4.0が抱える課題を最新技術で克服し新たな未来社会を目指すこと。

学校教育では「STEAM教育」を重視したプログラム

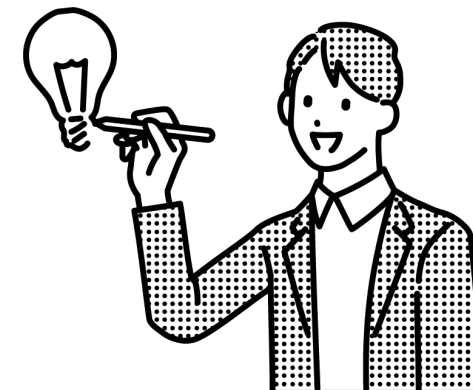


引用： <https://oyako-heya.jp/articles/329>

? .STEAM教育とIT教育をつなげるには



大学のIT教育で求められるような力



情報化が進む世の中
に対応できるように
ITの基礎をかためる

Society5.0の
世界を目指す

授業以外の場でもITを活用
して社会と結びつける学び
を考える

教育する側になったとき改
正された指導要領に沿って
将来の力になる人材を育成
できるような授業図栗がで
きるようになる

終わり

ご静聴ありがとうございました

